



小島鉄工所<6112>、創業家によるMBOで非公開化



小島鉄工所は26日、MBO（経営陣による買収）を実施し、非公開化すると発表した。同社会長・筆頭株主の児玉正蔵氏ら創業家出身の4氏が設立した新会社「児玉本社」（群馬県高崎市）がTOB（株式公開買い付け）を通じて全株式取得を目指す。小島鉄工所はMBOに賛成している。

同社は大型油圧プレス機のメーカー。現在、名古屋証券取引所第2部に上場しているが、3月の平均時価総額が5億円未満となり、上場廃止のおそれが出ている。このため、顧客や取引先に対する信用力の低下などから、受注に悪影響が及ぶ懸念が出ており、中長期的な成長を見据えた場合、非公開化により事業基盤を再構築する必要があると判断した。

MBOの主体となる児玉本社は小島鉄工所会長の児玉正蔵氏、正蔵氏の実兄の児玉恒二氏、児玉三郎氏（いずれも取締役相談役）、甥の児玉太郎氏の4氏が各25%を出資して設立した。

買付価格は1株あたり570円で、TOB公表前日の終値401円に42.14%のプレミアムを加えた。買付予定数は99万9050株。買付予定数の下限は所有割合67%に相当する66万9976株。買付代金は5億6945万円。児玉本社に出資する大株主4氏（所有割合は合計29.17%）はTOBに応募する。

買付期間は6月29日～8月12日。決済の開始日は8月19日。公開買付代理人はSMBC日興証券。

2019年11月期業績は売上高0.6%減の22億4800万円、営業利益74.4%減の2300万円、最終利益66%減の3400万円。今年2月にはやはり時価総額が回復せず、東証2部を廃止となった。

小島鉄工所は1809年に初代の小島弥平が朝廷から免許を得て鑄造所として創業したことを起源とする名門。1930年に合資会社、1936年に株式会社に改組。明治期には水圧機（水圧プレス）の国産第1号を開発したことで知られる。